

インタビュー翻訳

# 2016-2017年世界医師会会長Ketan Desai医師と インド医師会Ajay Kumar医師へのインタビュー： 保健医療維持組織としてのWMAの地位向上、 インド医師のプロフェッショナル・ オートノミーについて\*1

Ketan Desai 2016-2017年世界医師会会長  
Ajay Kumar インド医師会

インタビュー・訳：

栗原千絵子 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所  
齋尾 武郎\*2 フジ虎ノ門整形外科病院内科・精神科

(2016年10月22日(土) 於：世界医師会総会期間中・Grand Hyatt Taipei, 台湾)

Interview with Dr. Ketan Desai,  
President of the World Medical Association 2016-2017,  
and Dr. Ajay Kumar, Indian Medical Association:  
Rise in status of WMA as the world health force;  
professional autonomy of Indian doctors

Ketan Desai President, World Medical Association 2016-2017  
Ajay Kumar Indian Medical Association

Interview and translation :

Chieko Kurihara National Institute of Radiological Sciences,  
National Institute for Quantum and  
Radiological Science and Technology

Takeo Saio \*2 Department of Internal Medicine and Psychiatry,  
Fuji Toranomon Orthopedic Hospital

(Saturday, October 22, 2016, during the WMA General Assembly, Grand Hyatt Taipei, Taiwan)

*Rinsho Hyoka (Clinical Evaluation)*. 2018 ; 46 : 107-11.

\*1 本インタビューは、世界医師会総会期間中に総会開催場所であるGrand Hyatt Taipeiにおいて行われた。英語版は本誌ホームページ[http://cont.o.oo7.jp/46\\_1/w9-w13.pdf](http://cont.o.oo7.jp/46_1/w9-w13.pdf)に掲載。

\*2 世界医師会準会員・日本医師会会員 (An associate member of the World Medical Association; A member of the Japan Medical Association)

**Interviewer** Desai先生が2017年10月までの任期で、世界医師会(World Medical Association: WMA)の会長をお務めになられることを心よりお喜び申し上げます。

**Desai** 第一に、WMA会長の任期は1年間しかなく、重要な仕事を成し遂げるにはあまりにも短いものです。第二に、WMAは基本的にアドボカシー組織であり、決議(resolutions)や勧告(recommendation)を出したりするなどして提言することはできます。しかし、そうしたものは、最終的には各国政府が実行しなければなりません。私が会長就任演説の中で述べたのは、各国政府が政策を形成する際にWMAの考え方を取り入れなければならないほどの地位を、WMAは確立すべきだということです。現状では、各国政府は世界保健機関(WHO)や国際連合(UN)の意見を取り入れています。

状況は改善してきていますが、もっとスピード

アップしなければなりません。WMAは1947年の創立から、既に70年が経過しています。私は多くの提言を行ってきましたが、中でも特に、2つの事項を優先するよう申し上げております。一つは、先ほど申し上げましたように、各国政府がWMAの意見を取り入れるような組織になるよう、WMAが努力すること。もう一つは、紛争地域で活動する平和維持軍のように、世界のための保健医療維持組織(world health force)にならなければなりません。自然災害であろうと他の種類の災害であろうと、災害が起きたときには、地域の政府だけでは処理できないことがあり、そうしたときに、世界のための保健医療維持組織の出番がやってくるのです。そうすることにより、災害時に保健施設がないがために健康を損なう人が出ないようにすることができるのです。

**Interviewer** 前回のインタビューでKumar先生から、Desai先生についてお話を伺いました\*3。



Dr. Ketan Desaiの世界医師会会長就任後のスピーチ。故宮博物館(Silk Palace)内「故宮晶華」における晩餐会にて。2016年10月21日。

\*3 Mungherera M, Kloiber O, Doppelfeld E, Kumar A, Jorge MR, Kurihara C, Saio T, interview. The WMA Council Session in Tokyo, 2014: Globalized medical ethics and research ethics – Interview with Dr. Margaret Mungherera, Dr. Otmar Kloiber, Dr. Ajay Kumar, Prof. Dr. Elmar Doppelfeld, Dr. Miguel R. Jorge –. *Rinsho Hyoka (Clin Eval)*. 2014; 42(2): 553-90. Available from : [http://cont.o.o07.jp/42\\_2/p553-90eng.pdf](http://cont.o.o07.jp/42_2/p553-90eng.pdf) [Mungherera M, Kloiber O, Doppelfeld E, Kumar A, Jorge MR. 栗原千絵子, 齊尾武郎, インタビュー・訳. 世界医師会2014年東京理事会: グローバル化する医の倫理と研究倫理 – Dr. Margaret Mungherera, Dr. Otmar Kloiber, Dr. Ajay Kumar, Prof. Dr. Elmar Doppelfeld, Dr. Miguel R. Jorge インタビュー –. 臨床評価. 2014; 42(2): 425-57.]



Dr. Ketan Desai, インタビュー時.



Dr. Ajay Kumar, インタビュー時.

インドの医学界は医学部の設置や医師資格に関し、とても強い権限を持っているのですね。

**Desai** 私は大学生時代には大都市の議員選挙に出ましたし、これまで大都市の多くの組織、州の医学評議会、インド医師会、インド医学評議会など、様々な組織で活動してきました。インド医学評議会が医学校を設置し医師の資格を与えるという法律は、私がインド医学評議会に在籍している時にできたものです。また、医学部や医学系大学院の入学試験を全国统一試験にし、今年（2016年）施行されました。これによって入学試験に関連するあらゆる不正や腐敗を防止することができるようになりました。今や公立・私立を問わず、医学部への入学はすべて、入学試験の成績表で決まるようになったのです。以前は多くの入学試験があり、ほとんどは5月や6月の日曜日に行われていたので、学生たちはあちこちで試験を受けなければならなかったり、試験日程が重なって希望

する大学を受験できなかつたりしました。あちこちに移動して受験しなければならないため、受験費用もかさみました。また、試験で国中を移動しなければならないことも、若い学生にはストレスでした。女子学生の場合には親が受験旅行に付き添わねばならず、精神的な負担にもなっていました。全国统一入学試験制度で、医学部志願者の負担は大きく軽減したのです。

**Interviewer** Desai先生のインド医療に対する大きな貢献に敬意を表します。WMAでのご活躍にも期待しております。ところで、Kumar先生は、いずれも東京で行ったものですが、2014年のインタビューと\*<sup>3</sup>、2013年のWMAのヘルシンキ宣言改訂専門家会議\*<sup>4</sup>で、インドの臨床試験についてお話しいただきました。現在インドでは、臨床試験の規制はとても厳しくなりましたね。

**Desai** インドでは、人口の80%ほどが公立病院で治療を受けており、残りの富裕層が私立病院

\*<sup>4</sup> 栗原千絵子, 齊尾武郎. ヘルシンキ宣言改訂専門家会議 (東京) — 2013年改訂と宣言採択50周年の2014年への展望 — 臨床評価. 2013; 41 (2): 337-49. Available from : [http://cont.o.oo7.jp/41\\_2/p337-49.pdf](http://cont.o.oo7.jp/41_2/p337-49.pdf) [Kurihara C, Saio T. Expert Conference on the Revision of the Declaration of Helsinki in Tokyo — 2013 revision and perspective toward the 50<sup>th</sup> anniversary in 2014 —. *Rinsho Hyoka (Clin Eval)*. 2013; 41 (2) e. Available from : [http://cont.o.oo7.jp/41\\_2/p337-49eng.pdf](http://cont.o.oo7.jp/41_2/p337-49eng.pdf)]



で治療を受けています。しかし、公立病院では常に何らかの制限や強制があり、公立病院に五つ星施設を期待することはできません。

**Kumar** この問題には、Desai先生はとても心を痛めておられました。グローバル企業は多くの臨床試験をインドで実施してきました。インドには多くの弱い立場の人々があります。読み書きのできない女性、子ども、老人などです。こうした人たちは、これまで薬物治療を受けていない“treatment-naïve”な集団なので、欧米企業について格好のグローバルサイトとされてきたのです。

さらに、私たちは、出生前性別診断など、医師が商売人、患者が消費者として扱われ、医師が消費者保護法の支配を受けるような状況に対しても闘っています。医業は倫理的な仕事であり、医師の自律性を奪うことは、断じて受け入れられません。インド医学評議会は、医師が商売人、患者が消費者であるとする考え方は認めません。この問題については、Desai先生の指導の下、政府に反対しています。

**Interviewer** Desai先生のリーダーシップの本質は何でしょうか？

**Kumar** 今日のこの場に来てDesai先生の就任を熱心に祝う医師たちの姿をみれば、Desai先生の人気がいかに大きいかお分かりだと思います。

私は14年間WMAのメンバーを務めていますが、WMA会長の就任式に、会長の出身国から10人を超える会員がやって来るのは見たことがありません。しかし今回、130人を超える医師がDesai先生のWMA会長就任を祝福するためにインドから駆け付けたのです。1,000人ほどの医師が祝福に行きたいと希望していましたが、医療機関の責任者でインド医師会の役員である者だけが来るようにと言いました。その結果130人だけが就任式に参加することになったのです。就任式の主催者からは、会場のスペースに限りがあるので130人以上の参加はご遠慮願いたいと言われました。この事実は、インド医師共同体60万人におけるDesai先生の絶大なる人気を物語っています。Desai先生は泌尿器科の教授で、インドの有名な医学部の泌尿器科部長です。我々の間で意見の相違がある時、Desai先生は沈黙を保ち、我々を混沌とした状況に置きます。そして仲裁に入るタイミングを見計らい、みんなに落ち着くように言い、会議を開くよう提案します。するとみんなが先生の考えを理解し、従うのです。これはリーダーとして素晴らしい資質です。先生は人の話をたくさん聴く一方で、自らは多くを語らないのです。

**Interviewer** Desai先生のカリスマ性の根源はどこにあるのでしょうか？

**Kumar** 第一に、Mahatma GandhiはDesai先生と同じ地域のAhmedabad州の出身なのです。Desai先生はGandhiから多くを学んだに違いありません。Desai先生の言動はGandhiにとってもよく似ているのです。第二に、インド首相のNarendra Modiも同じ地域の出身です。おそらくそこには地域の持つ力のようなものがあるのでしょう。

**Interviewer** 素晴らしいお話を伺わせていただきまして、有難うございます。Desai会長の導きによりWMAがますます力を増すことと信じています。また、Kumar先生には、私たちの二度目のインタビューをお受けいただけましたこと、大変有難うございます。



Dr. Desai, Dr. Kumarとインタビューア-。

\* \* \*